

令和2年5月1日に思う

感無量です。

ついにこのほど「源流を守り、国土保全を推進する」議員連盟が設立されました。会長の細田博之衆議院議員や、堀井巖参議院議員をはじめ、62名もの議員各位の賛同を得て、念願の設立となりました。あらためて、今日までご尽力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

私たち全国の仲間が集まり「全国源流の郷協議会」を立ち上げたのが、今からちょうど15年前の平成17年のことです。「源流の危機は国土の危機」を合言葉に「国土保全と水源地の保護の役割は、私たちの地域の使命であるとともに、**国民的課題**である」と訴え続けてきました。

今回の議員連盟設立は、私たちの長年の想いが届いたものであり、非常に感慨深いものがあります。

源流を守り続けるためには、源流の本当の価値がわかる人材と、その人材が源流に住み続けられる持続可能な仕組みが必要です。そのために、学校教育としてそれぞれの住む地域の源流を訪れることや、流域を一つの経済圏として地産地消をすすめることなどを盛り込む「源流基本法」の制定が必要だと考えています。本議員連盟では今後、この「源流基本法」の制定に向けて活動を行っていきます。

我々も引き続き、源流に生きる者としての使命と役割をしっかりと果たしつつ、この流れをさらに確かなものにしていくべく、「水源地の村づくり」を加速させていく覚悟です。